

氏名	八十島 崇	部署	健康開発学科	職名	講師
研究分野	トレーニング科学、コンディショニング科学				
学位	博士(体育科学)				
学歴	筑波大学大学院博士課程体育科学研究科修了				
経歴	2006年九州共立大学スポーツ学部助手、2008年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師				
所属学会(役職)	日本体力医学会、日本臨床バイオメカニクス学会、トレーニング科学会、日本バイオメカニクス学会				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了 ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
2					
3					
(2) 論文					
1	該当なし				
2					
3					
(3) 学会発表					
1	該当なし				
2					
3					
(4) その他					
1	養護教諭なんでも相談室 姿勢の悪さが運動機能に及ぼす影響と改善の ためのアプローチについて	単著	心とからだの健康22(3)、 38-39	八十島崇	健学社・平成30年3月 1日
2					
3					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	該当なし				
2					
3					
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	健康科学Ⅱ	2017.6～7	健康行動科学専攻2年次生を対象にトレーニング科学や運動学に関する基礎的内容を概説した。		
2	運動学	2017.10～2018.2	スポーツ運動学の概念を基盤に、技術・技能・戦術、運動発達、運動学習について具体的実践例を交えながら概説した。		
3	健康科学セミナー	2017.6	健康行動科学1年生を対象に自分自身の専門領域や学内における担当授業などを概説した(1コマ担当)。		
(2) 演習					
1	トレーニング論	2017.4～7	筋力・パワー・全身持久力などを中心に体力構成要素の解説し、各体力を向上させるためのトレーニング方法と具体的実践例について概説をした。		

2	運動プログラム論	2017.10～2018.2	トレーニング論及びトレーニング実習の内容を踏まえ、対象者に対してトレーニングプログラムを作成・指導するための具体的実践方法を習得させるよう授業を展開した。	
3	課題別演習Ⅰ	2017.4～7	ゼミの学生7名を対象に、専門領域における文献の検索、読み方などを指導し、抄読会を行った。また、実験の実施やデータ収集、解析など卒業論文作成に向けた作業について概説した。	
4	課題別演習Ⅱ	2017.10～2018.2	ゼミの学生8名を対象に、課題別演習Ⅰでの学びをもとに文献抄読会を引き続き行った。また、実技演習を通じ、スポーツ現場での実践についての理解を深めた。	
(3)実習				
1	運動学実験Ⅰ	2017.4～7	動作解析の研究手法について概説し、データの収集方法及び考察の仕方について授業を行った。	
2	運動学実験Ⅱ	2017.4～7	運動生理学の講義内容を基盤に、筋力・持久力(全身持久力／筋持久力)・敏捷性・体組成等に関する測定を実施し、各データの収集・解析方法及び考察の仕方について指導をした。	
3	トレーニング実習	2017.10～2018.2	トレーニング論の講義内容を基盤に、主にウエイトトレーニングの実施方法や指導ポイントを踏まえた実践的な授業を行った。	
4	球技	2017.10～2018.2	学習指導要領の球技と位置づけられているベースボール型、ネット型及びゴール型の各種球技種目について、それぞれの特性や競技的魅力を体感できるような授業運営を念頭に置き授業を行った。	
5	ウィンタースポーツ	2018.2～3	ウィンタースポーツとしてスノーボード及びスキーマの技術的特性を理解し、段階的に指導できるようになるための授業運営を心がけ授業を行った。また、基礎技術の習得だけでなく学生間のコミュニケーションスキル向上に配慮しながら指導を行った。	
6	ヒューマンケア体験実習	2016.8～9	担当施設との日程・内容等の調整を行い、円滑な実習実施に努めた。また、学生にとって有意義な実習となるようオリエンテーションや振り返り学習の場面で助言などを行った。	
7	教育実習	2017.5～9	保健体育(中・高)の履修者が4年次に行った教育実習の巡回指導を担当した(5名)。	
(4)論文指導				
1	卒業論文	2017.4～2018.2	主指導:8名	
2				
3				
(5)その他				
1	査読 J Sports Med Phys Fit	2017	J Sports Med Phys Fit誌に投稿された論文の査読を行った。	
2				
3				
4. 社会貢献活動				
(1)講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	久喜市立栗橋東中学校での出張講座	久喜市立栗橋東中学校	全校生徒を対象に中学生向けトレーニング・コンディショニングのための運動指導を行った。	2017.6.29
2	夏期チャレンジ講座	府中市矢崎小	「跳び箱運動を動作分析装置でみてみよう」というテーマでスポーツ動作の分析について概説した。	2017.7.21
3	東松山市きらめき市民大学での講師	東松山市	東松山市きらめき市民大学にて「身体(からだ)・機能・運動」というテーマで講義を行った。	2018.2.21
(2)国、自治体、財団法人等における委員等				

	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	越谷市	越谷市保健衛生審議会委員	2017.8～2019.7
2	埼玉県	2020オリンピック・パラリンピック／ラグビーワールドカップ2019埼玉県推進委員会ボランティア部会	2017.4～2018.3
3	草加市	草加市スポーツ推進審議会委員	2018.2～2020.2
(3)ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
2			
3			
5. 学内運営(委員会委員)			
1	地域産学連携委員会		
2	教育開発委員会		
3			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	NSCAジャパン永年会員継続20年表彰	NSCAジャパン事務局	2017.12
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		